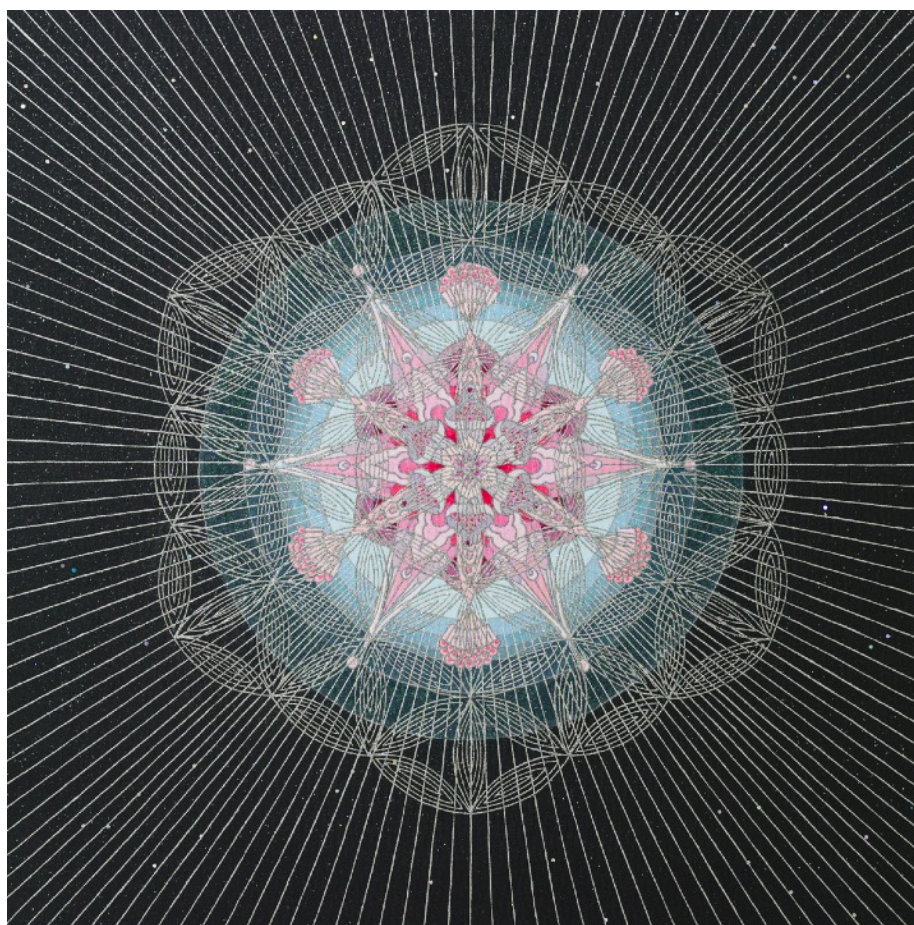


JPS GALLERY、AYAKA FARIHA 個展「FLOWER OF LIFE」を開催

— 生命のかたちと京都の伝統技法が会う —

展示期間: 2026年1月17日(土) ~ 31日(土)

オープニングレセプション: 2026年1月16日 (金) 17:30 ~ 20:00



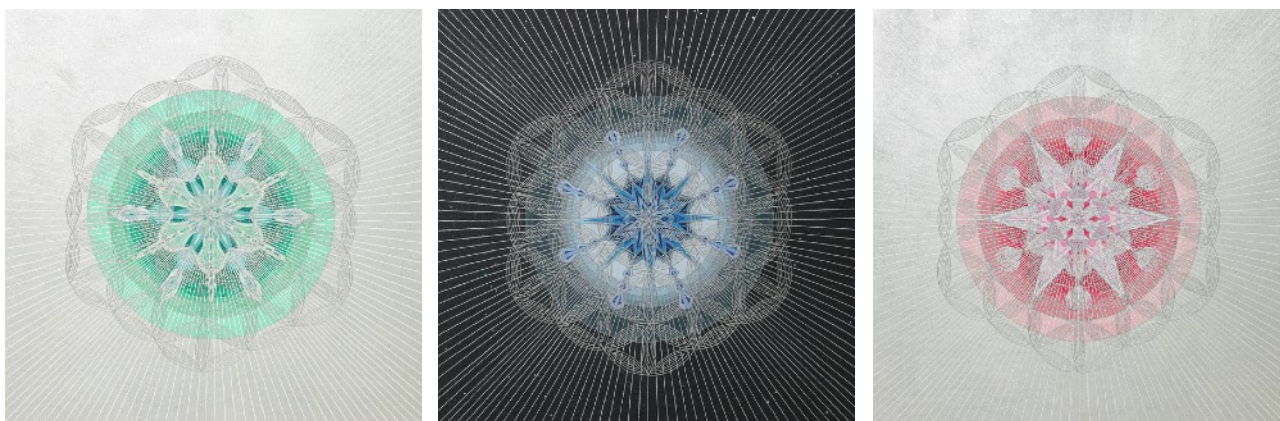
January Garnet : Eliminate Misfortune and Good Luck, 2025
aluminum foil, aluminum powder, setasilk, setacolor on canvas mounted wood panel, 41.2 by 41 cm
© Courtesy of the artist and JPS Gallery

JPS Gallery Tokyoは、現代美術作家・AYAKA FARIHAによる個展「Flower of Life」を開催いたします。本展では、日本の伝統的な絞り描き技法である筒描き（つつがき）を用いて制作された新作を中心に、生命の成り立ちや自然のつながりをテーマとした作品群を発表します。

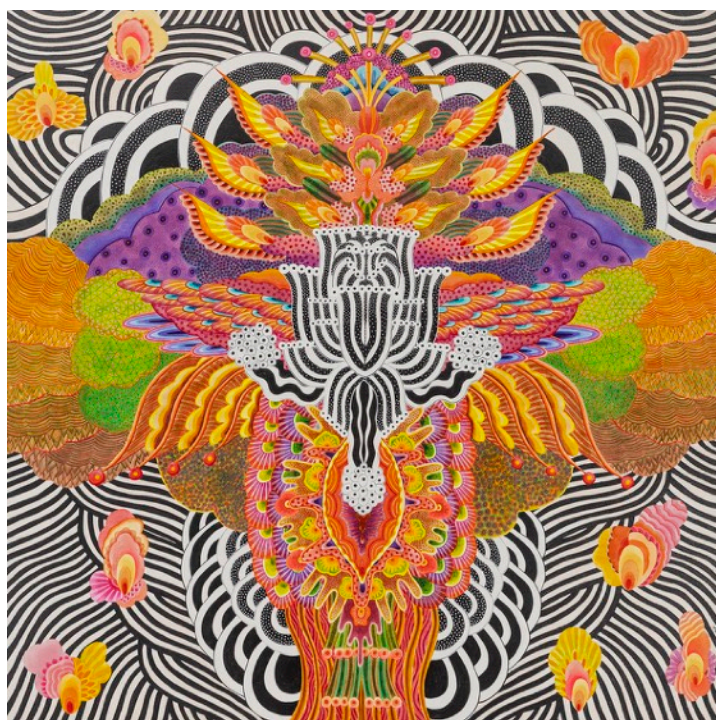
彼女は、植物や昆虫、人間など、生きものを分子や細胞の視点から見つめ、その構造に共通する「円」や「重なり」のかたちを作品として表現してきました。

存在の設計図

展示タイトルにもなっている「Flower of Life」は、古くから宇宙や生命の構造を表す模様として知られています。彼女はこのかたちを、特別な象徴としてだけでなく、私たちの身近な自然や生命と深くつながるものとして捉え直し、作品へと落とし込んでいます。



May Emerald : Make Dreams Come True (left), Lapislazuli for Great Success (middle) and January Garnet : Make Dreams Come True (right), 2025
aluminum foil, aluminum powder, setasilk, setacolor on canvas mounted wood panel, 41.2 by 41 cm (each)
© Courtesy of the artist and JPS Gallery



Birth of Venus under the Sea 海のヴィーナス誕生, 2023
acrylic on wood panel, 100 by 100 cm
© Courtesy of the artist and JPS Gallery

「分子レベルで観察すると、植物も昆虫も人間も、すべて連続する円環の連鎖で構成されているのです」と彼女は語ります。「この古代幾何学シンボルと私の顕微鏡的世界との共鳴を通じて、鑑賞者にこれまでにないほどの祈りの力、幸運、そして厄災を退ける保護振動をもたらす作品を創りたいと思っています」

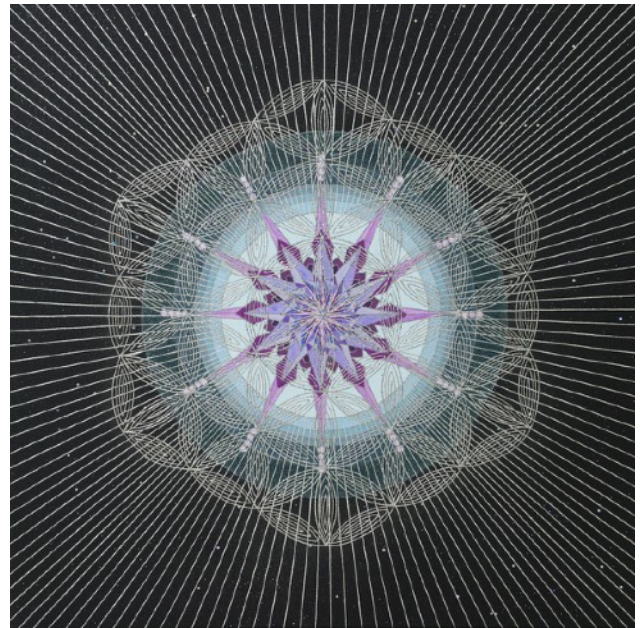
染料とデータの錬金術：三つのシリーズ

作品制作は、極めて高い集中力と持久力を要します。金粉や銀粉を混ぜた糊を細い筒から絞り出しながら線を描く筒描きの技法によって、リズムカルに脈打つ三次元的な隆起を形成し、作品に独自の生命感を与えています。

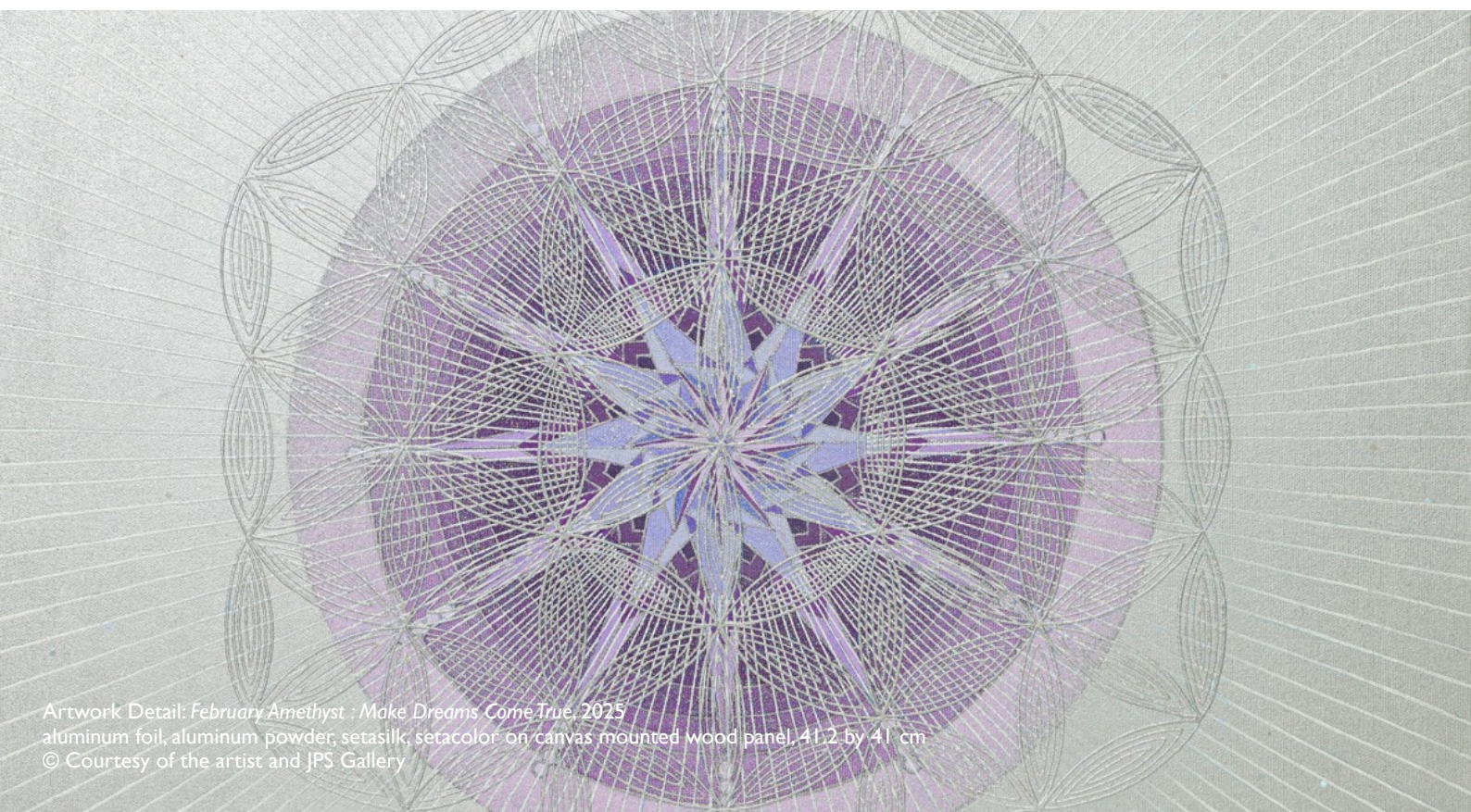
結晶化されたエネルギー — 誕生石シリーズ

本展の中心となる《Flower of Life for Birthstones》シリーズでは、1月から12月までの誕生石をモチーフに、それぞれの石が持つ色やイメージを表現しています。

金彩やアルミ素材を用いた表面は光を受けて繊細に輝き、作品一つひとつが、お守りのように前向きな気持ちをそっと後押しする存在となっています。



February Amethyst : Eliminate Misfortune and Good Luck, 2025
aluminum foil, aluminum powder, setasilk, setacolor on
canvas mounted wood panel, 41.2 by 41 cm
© Courtesy of the artist and JPS Gallery



Artwork Detail: *February Amethyst : Make Dreams Come True, 2025*
aluminum foil, aluminum powder, setasilk, setacolor on canvas mounted wood panel, 41.2 by 41 cm
© Courtesy of the artist and JPS Gallery



Passion Flower 情熱の花 (left) and Dream Flower 夢の花 (right), 2025
acrylic on wood panel, 116.7 by 72.7 cm (each)
© Courtesy of the artist and JPS Gallery

デジタル時代のための聖域

《Four Seasons Colours》シリーズでは、スクリーンに囲まれた現代社会における感覚の偏りに着目。視覚と触覚が疲弊する時代に対する処方箋として、日本の四季の風景を幻想的な微視的世界として描き出します。

自然の細胞的本質を精緻に捉えたこれらの作品は、深い共感と生命力に満ちた空間へと鑑賞者を導き、忘れかけていた「自然との一体感」を静かに呼び覚まします。



Polka Dots Forest 水玉の森, 2024
acrylic on wood panel, 53 by 53 cm
© Courtesy of the artist and JPS Gallery

委ねることの美学

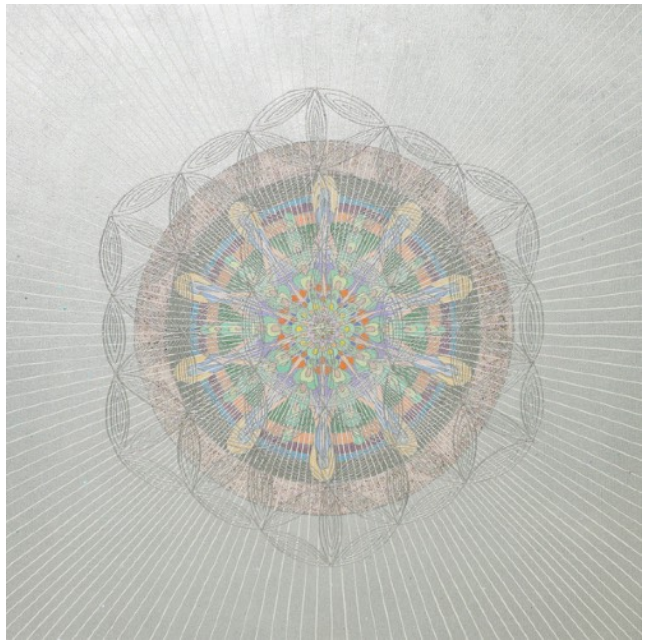
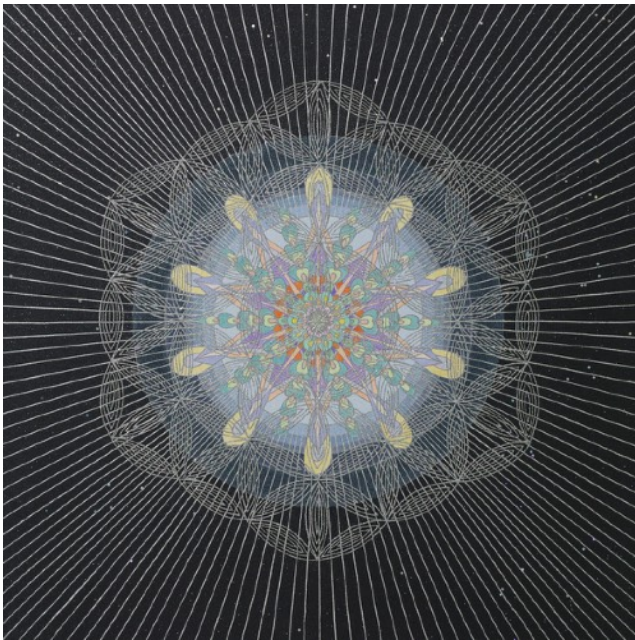
《Floating Polka Dots》シリーズでは、境界を手放し、未知へと身を委ねることによって得られる深い至福の状態が表現されます。細胞描写の鋭利な明瞭さからあえて距離を取り、植物の世界を寓話的で曖昧な情景へと変換。水面に浮かぶ花のように、風や流れに身を任せる「Floating Polka Dots」は、固定概念から解き放たれ、より開かれた生き方へと鑑賞者を誘います。



Rainbow Polka Dots 虹の水玉, 2024
acrylic on wood panel, 53 by 53 cm
© Courtesy of the artist and JPS Gallery

子どもの頃のまなざしと、確かな技術

彼女は、幼少期から植物や昆虫を観察し、見えない世界に強い関心を持ってきました。京都で学んだ伝統技法と、長年育まれてきた観察眼を重ねることで、繊細でありながら力強い作品世界を築いています。



October Opal : Make Dreams Come True (Left) and October Opal : Eliminate Misfortune and Good Luck (right), 2025
aluminum foil, aluminum powder, setasilk, setacolor on canvas mounted wood panel, 41.2 by 41 cm (each)
© Courtesy of the artist and JPS Gallery



Sunset Polka Dots 夕焼けの水玉, 2024
acrylic on wood panel, 100 by 100 cm
© Courtesy of the artist and JPS Gallery

本展「Flower of Life」は、生命のかたちを静かに見つめ直し、日常の中にある自然の美しさやつながりを感じるきっかけとなる展覧会です。

Ayaka Fariha について (日本)

彼女は、日本出身の現代美術作家です。

静岡県生まれ、現在は京都を拠点に制作活動を行っています。

2歳の頃から絵画教室に通い、頭の中に思い描いたイメージを形にするためには「よく観察すること」が重要であることを学びました。この気づきから、植物や昆虫などの生きものを日常的に観察するようになり、長い時間をかけてその姿を見つめ続けてきました。

やがて、植物や昆虫、人間を含むあらゆる生命が、分子レベルでは円が連なった構造によって成り立っていることに気づき、「円」「点」「水玉」を自身の制作における重要なモチーフとして用いるようになります。また、生きものが持つ複雑で神秘的な微細世界を表現するためには、高度で精緻な技術が不可欠であるという理解が、作家としての姿勢に大きな影響を与えました。

高校ではライフデザインを学び、その後、女子美術短期大学で絵画を専攻。油彩、アクリル、モザイク、版画など、幅広い表現技法を習得しました。さらに倉敷芸術科学大学では現代表現を学ぶと同時に、織や手描き友禅染友禅などの染織分野にも取り組みました。在学中から公募展やコンクールに積極的に参加し、優れた技術力と独創性により数多くの賞を受賞しています。

卒業後は京都の染色工房にて研鑽を積み、金箔加工や口ウ吹き染めなどの伝統技法を修得。手描き友禅による着物や帯を、美術作品として発表できる表現力を身につけました。

アクリル絵画、シルクスクリーン、友禅染、アート刺繍など、多様なメディアを横断しながら、自然と人間の共存をテーマに、現代の生活空間と調和するデザイン性を備えた作品を制作しています。2025年より「AYAKA FARIHA」として、現代美術作家としての活動を本格的に開始しました。

JPS ギャラリーについて

2014年に香港で設立され、その後東京に拠点を拡大したJPSギャラリーは、世界中の新進・ベテランアーティストの作品を紹介する独立系コンテンポラリーアートギャラリーです。

私たちは新しいデジタル時代、ファインアートとポップカルチャーの世界の探求に捧げる情熱的な精神で設立しました。新世代のアーティストとコレクターのための革新的な環境を創造し、すべての人のための創造的な空間を育成することを目指しています。常に様々な媒体や分野にまたがる、楽しく遊び心のある時代の作品に焦点を当て、今日の美学を体現する作品を厳選して紹介しています。

JPSギャラリーは、アジアやヨーロッパの文化やアートシーンをサポートし、活気ある地元のアートコミュニティを創造することに尽力しています。定期的に新進アーティストの作品をギャラリースペースや国際的なアートフェアで紹介しており、彼らに世界的な露出の場を提供することで、若手アーティストのキャリアアップを支援しています。

私たちはまた、様々なチャリティーイベントやオークションのスポンサーとして、社会や地元のアートシーンに積極的に貢献しています。

展示会場

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-27-4 東武第二ビル1階 JPSギャラリー 日本

メディアに関するお問い合わせ

報道関係者の方からのお問い合わせは、
永井友梨 | yuri@jpsgallery.com までご連絡ください。

ソーシャルメディアハッシュタグ

@jpsgallery @ayakafariha_art
#floweroflife #ayakafariha #jpsgallery